

真岡市

る場合、県と支援協定を結ぶ東京海上日動火災保険に

林敦雄^{はやし としお}常務理事は、同協議会とちぎ視聴覚障害者情



チタン製の屋根瓦へのふき替え工事が完了し、報道陣に公開された浅草寺・五重塔の屋根(手前)。すでにチタンが使われている本堂(奥左)と宝蔵門(同右)が見える=13日午前、東京都台東区

安全・荘厳によみがえる

宇都宮・カナメのチタン瓦

浅草寺五重塔ふき替え完了

東京都台東区の浅草寺・五重塔で、金属屋根製造・施工のカナメ(宇都宮市平出工業団地、吉原正博^{よしはら まさひろ}社長)などが手掛けていたチタン製の屋根瓦のふき替え工事が完了し、13日、報道陣に公開された。カナメのチタン製の必要がほぼなく、軽量の

ため建物の耐震性も上がるという。落ち着いた銀色の光沢を放つ「いぶし瓦」のような、重厚なたたずまいを

再現しているのも特長だ。五重塔は1973年に再

建され、屋根はアルミ合金瓦が使用されていた。カナメのチタン瓦は2007年に同寺の宝蔵門、10年に本堂で使われたが、11年の東日本大震災で落ちたり、ずれたりすることがなかったため、五重塔でも採用された。ふき替え工事は16年7月から開始し、約11カ月で完了。新日鉄住金がチタン材開発製造、カナメが屋根材を加工生産し、清水建設が施工した。五重塔は高さ約53㍎。屋根面積は約1554平方㍎で、約5万7千枚の瓦を使用した。瓦は薄さ0・3㍎で、重量約8㍎。濃淡3色の灰色を使用し、いぶし瓦に近づけた。改修費は約6億円。

同寺の守山雄順^{もりやま ゆしのり}執事長は「まず第一に安全性からチタン瓦の採用に至った。境内の伝統建築物の荘厳さを損なうことなく、素晴らしい仕上がりとなった」と話した。(小野裕美子^{おの ひろみこ})



屋根瓦のふき替え工事が完了し、公開された浅草寺五重塔。13日午前、東京都台東区